

## 空道 全日本ジュニア優勝

岩沼市立玉浦小6年

星優斗 選手  
斎藤悠 選手

空手を元にした武道「空道」のジュニア日本一を決める「2001 全日本空道ジュニア選手権大会」が昨年11月、東京で開かれ、岩沼市立玉浦小6年の星優斗君(12)と斎藤悠君(12)が、それぞれの階級で優勝を果たした。来年に開かれる世界選手権に向け、「世界一になりたい」と夢を膨らませている。

(鈴木絵里奈)

空道は2001年に誕生し、突き、蹴り、投げ、絞めなど多彩な技を使ってポイント制で競う。全国で2万人弱の競技人口がおりといわれる。身長と体重から計算される指数ごとに階級を分けて戦う。技の決まり方によって、柔道のように「有効」から「一本」まで得点が入る。

斎藤君は小学1年から、星君は小学2年から名取市



空道で共に日本一に輝いた星優斗君(左)と斎藤悠君

読売新聞 2012年1月18日

## 震災乗り越え 目指すは世界一

美田園の道場「大道熱仙南支部」に通う。共に蹴り技が得意だ。星君は身長144と小柄ながら闘争心の強さが持ち味。斎藤君は身長146で力強い蹴りが特徴だ。階級は異なるが、週2回一緒に練習する良きライバルだ。

震災による津波で、2人の自宅はそれぞれ全半壊する被害を受けた。2人を指導している元世界王者の佐藤繁樹さん(38)は、「震災を乗り越え、あきらめない強さを身につけた」と話す。星君は昨年10月の東北大会で優勝した後、体重が5kgほど増え、階級の規定をオーバーしてしまった。全国大会は同じ階級で出場しなければならぬため、一緒に練習する仲間からも「大会はあきらめろ」と言われた。だが、「どうしても出場したい」と、朝夕のランニングや食事調整で減量し、計量まで何とかな間に合わせた。

2人の憧れは、指導力のある師範の佐藤さんだ。「優しくてかっこいい」と口をそろえる。来年の世界選手権は東京で予定されている。世界一を目指して、これからも2人で切磋琢磨しながら、稽古に励んでいく。